

2 予算案のポイント

次期総合5か年計画の実現に向けて

- 次期総合5か年計画における「学びと自治の力で拓く新時代」の基本方針に沿い施策を展開
- 「第3期長野県食と農業農村振興計画」(案)に基づき、「次代へつなぐ信州農業」、「消費者とつながる信州の食」、「人と人がつながる信州の農村」の3本柱により事業を構築
- 県内の農業団体や農業者、民間企業、大学や高校等の教育機関、地域振興局、関係部局との連携を図りながら事業を推進

■「次代へつなぐ信州農業」を実現するために

<次代を担う経営体の育成と人材の確保>

- ◆ 本県農業の持続的な発展を図るため、明確な経営理念を掲げ、最先端技術の導入やトヨタ式カイゼン手法などにより自らの経営改善に取り組み、稼ぐ農業を実践する先駆的な農業トップランナーを育成します。
- ◆ 多様な農業経営体を確保育成するため、女性農業者の経営者としての発展や、法人経営等における雇用スキルと雇用就業者の資質の向上を支援します。
- ◆ 先駆的な農業トップランナーの活躍や魅力について、教育機関と連携した中高生等への意識づけを行うなど、「学び」による将来の就農へつなげる人材の確保育成に取り組みます。
- ◆ 地域農業の持続的な発展と農業生産性の向上を図るため、農地中間管理事業等を活用し、中核的経営体への農地の集積・集約化や経営の効率化などを支援します。

<消費者に愛され信頼される信州農畜産物の生産>

- ◆ 生産の省力化・低コスト化と生産物の高品質化を推進するため、ICTやドローン、作業ロボットなどの最先端技術の生産現場への導入・普及を進めるとともに、民間企業、大学等と連携してAI等を活用した革新的な農業技術の開発及び実用化に取り組みます。
- ◆ 園芸品目の“強み”を伸ばし“稼ぐ力”を一層強化するため、果樹オリジナル新品種の市場デビューに合わせたプロモーションによるブランド力の強化や、果実等の機能性を活かした消費拡大に向けた農産物の機能性成分の分析に取り組みます。
- ◆ 水田農業の体質を強化するため、地域に適した園芸品目等の導入による経営の複合化の推進と、県産米の高品質化やオリジナル品種の生産拡大、徹底したコスト削減による長野県産米の競争力、ブランド力、収益力の向上を図ります。

- ◆ 国際的な基準に基づく取引の拡大等へ対応できる農業経営体を育成するため、国際水準GAPの実践を推進し、GAP認証の取得を支援します。
- ◆ 農業経営の基盤となる生産条件の改善による生産性の向上を図るため、農業農村整備事業を計画的かつ着実に推進します。

<需要を創出するマーケティング>

- ◆ 果実や花き等の県産農産物の商業ベースでの輸出を拡大するため、「長野県農産物等輸出事業者協議会」の海外展開を支援するとともに、海外バイヤーの招へいや海外での料理教室開催などにより県産農産物等の魅力発信を推進します。
- ◆ 食品産業と連携し、地域内経済循環を通じた農業者の所得確保を図るため、県内食品事業者への県産農産物の原料ニーズの把握により、需要に応じた生産出荷体制の構築を推進します。

■「消費者とつながる信州の食」を実現するために

- ◆ 県産農畜産物や郷土食、伝統食などの魅力について、県民等への理解を促進するため、「おいしい信州ふど」の県民運動の取組を更に強化することにより、県産農産物の認知度向上を図ります。
- ◆ 県内で利用されている食材を外国産・県外産から県産農畜産物へ置き換える「食の地消地産」を進めるため、ホテルや旅館、飲食店、学校給食等における信州産食材の活用を促進します。
- ◆ 学校訪問などによる子ども達への信州の食の伝承など関係部局と連携して地域ぐるみの食育活動を支援します。

■「人と人がつながる信州の農村」を実現するために

- ◆ 農業者が持続的に営農できる環境を整えるため、農業水利施設や地すべり防止施設の長寿命化とため池の耐震化を推進します。
- ◆ 水源かん養や景観保全など農業・農村の多面的機能を維持するため、県民等への理解促進による維持活動への参画を推進します。
- ◆ 農村集落が潜在的に持っている地域力を誘引し、農村のコミュニティを維持・強化につなげるため、地域の創意と工夫による活性化に向けた取組を支援します。
- ◆ 農村における自然環境や歴史的な農業資産を観光資源としても活用し、地域振興を図るため、情報発信に取り組むとともに、取組体制の整備を地域振興局等と連携し支援します。